

EVENT

SEMINAR

水域生態系における細菌の群集集合と 炭素蓄積のフィードバック

2019年8月6日(火)

2:40 pm - 4:10 pm

G303

講演者：三木 健教授

龍谷大学・理工学部



本研究は、海洋の微生物群集と炭素循環過程の関わりを示した「微生物炭素ポンプ (Microbial Carbon Pump)」仮説に焦点を当てる。この仮説は微生物群集によって難分解性の有機物が生産されていることを提唱したものである。生理学的視点からすれば、この微生物炭素ポンプが成立する理由として、細菌が個体の生存を最大にするために難分解性有機物を産生しているからだと考えるが自然であろう。本研究では、群集集合および群集 - 環境間のフィードバックという群集生態学の概念に基づき、数理モデルとメタ解析により生態学的機構も働いている可能性を調べた。

どなたでも聴講可能です。

Contact: Mayumi Seto (seto@ics.nara-wu.ac.jp)